

もしも家族が倒れたら…

病院は長期入院できない…施設もない…  
お金もない…でも在宅で見る自信もない…



高齢者問題は身近な問題です。

患者家族の切実な声、  
受け皿になる病院・施設の実態、  
地域医療を担う医師の実情を  
実際に聞いて考えよう

# 地域医療構想と介護保険で 「地域包括ケア」は可能か



## 高齢者の尊厳を守るために

2025年に向けて医療・介護の一体改革が進行しています。  
地域の医療と介護の実態から、国の進める医療再編と介護保険の問題点を明らかにし、患者、家族、市民の視点で、人間の尊厳を守るために本来あるべき医療と介護を考えます。



2016年 11月20日(日) 午後1時30分~5時

大阪民医連会議室 (定員150人/地図参照)

参加費/1,000円



問題提起

地域包括ケアと地域医療構想  
高齢者の尊厳はまもれるか  
佛教大学教授・岡崎祐司先生



シンポジウム=高齢者の尊厳を守るために皆で考えよう

親の介護をする家族から、病院の医療ソーシャルワーカー、  
老健施設の相談員、地域の開業医の方から現場の実情を  
報告いただき、参加者と一緒に討論します。

主催/大阪社会保障推進協議会

【連絡先】大阪社会保障推進協議会 大阪市北区錦町 2-2 国労会館内 電話 06-6354-8662 F A X 06-6357-0846

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■参加申込 FAX:06-6357-0846 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

シンポジウムに参加します

所属団体・医療機関・施設名

所在地 ( 市・町・村 )

ふりがな

お名前

連絡先 Tel